

第13回 NPO法人会計講座

令和2年1月

こんにちは、宮崎県生活・協働・男女参画課です。

さて、今回はキャッシュ・フロー計算書について、お話いたします。

キャッシュ・フロー計算書は、NPO法人会計では作成は求められておりませんが、会計知識の幅を広げる意味で、お気軽にご覧ください。

ところで、皆さんは「**黒字倒産**」って言葉をご存じですか？
黒字倒産とは、名前のおり決算上は黒字だけど、現金不足により企業が倒産してしまうことをいいます。

例えば、A社が1億円の加工用機械を販売した場合、代金の受け取り方に次の2パターンが考えられます。

〔	(パターン1)				
	現金	1億円	／	売上	1億円
〕	(パターン2)				
	受取手形	1億円	／	売上	1億円

パターン1の場合は、現金で受け取っておりますが、

パターン2の場合は要注意です、受取手形ですので、将来的（概ね2～3ヶ月後）には現金を受け取れますが、A社に潤沢な資金がなかった場合、入金されるまでの2～3ヶ月の間の従業員給与や水道光熱費などのさまざまな諸経費、商品の仕入代金の支払などができずに、企業活動が停止してしまう恐れがあります。

このようなケースで倒産してしまうことを、黒字倒産といいます。

例え、損益計算書が黒字でも、倒産リスクがある場合があるのです、

そのため、近年は、

「**キャッシュ・フロー計算書**」を用いて現金の流れからも企業分析を行うことが重要視されています。

キャッシュ・フロー計算書は、名前のおり現金の流れを表す計算書になります。

キャッシュフロー計算書（例）

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

損益計算書の当期純利益（からスタートします。） ×××

ここに営業活動による現金の増減が入力されます

営業活動に係るキャッシュ・フロー（小計） +170万円

II 投資活動によるキャッシュ・フロー

ここに土地などの有形固定資産の取得・売却や
他社への投資や貸し付け・回収などに投資活動に
関する現金の増減が入力されます。

投資活動に係るキャッシュ・フロー（小計） △20万円

III 財務活動によるキャッシュ・フロー

ここに、銀行からの借り入れ・返済や株式の発行
などの資金調達に係る現金の増減が入力されます。

財務活動に係るキャッシュ・フロー（小計） +50万円

IV 現金及び現金同等物の増加額	+200万円
V 現金及び現金同等物期首残高	300万円
VI 現金及び現金同等物期末残高	500万円

「V」が前期末の現金残高で「VI」が今期末の現金残高となりますので、
差額の200万円が「IV」に表示されているわけですが、
この200万円の原因について、「I」～「III」において分析できます。

例えば、キャッシュ・フロー計算書の

営業活動によるキャッシュ・フローが「+」(現金が増えている)
投資活動によるキャッシュ・フローが「-」(現金が減っている)
財務活動によるキャッシュ・フローが「-」(現金が減っている)

このような企業は、どのような経営状況であると推測できるでしょうか？

「営業～」がプラスであるということは、本業で現金が獲得できている。

「投資～」がマイナスであるということは、投資したことにより、現金が減少している。

「財務～」がマイナスということは、金融機関等に対して、借り入れるよりも返済する額の方が上回っている。(新たに借りた場合は現金はプラスとなり、返した場合はマイナスとなる。)



仮説 (ということは～～??)

本業により多額の現金を獲得し、その現金をもって他社への積極的な投資や、借入れの返済を進めている優良企業との予測ができます。

では次に

「営業～」が「+」
「投資～」が「-」
「財務～」が「+」

の場合はどうでしょうか？

この場合は、「営業～」及び「財務～」が (+) ですので、本業が順調で、積極的な借入れ (財務～) を行っており、積極的に投資 (投資がマイナス→つまり投資により現金が流出) を行っていることが分かります。

→成長過程にある伸び盛りの会社と予想できます。

このように3つの「+」、「-」の組み合わせは全8パターンあります。
それぞれが、どのような企業状態が予測されるか考えてみると楽しいですよ。

営業CF	投資CF	財務CF	予測
+	-	-	優良
+	-	+	投資に積極的（成長株）
+	+	-	？
+	+	+	？
-	-	-	？
-	-	+	？
-	+	-	？
-	+	+	？

考えてみましょう！

※「CF」とはキャッシュ・フローの略です。

いかがでしたでしょうか？

今回は、キャッシュ・フロー計算書について説明しました。

冒頭に申し上げたように、NPO法人には作成は求められていない書類ですが、「こんなものがあるんだ～」と、頭の片隅にボンヤリと覚えていただければうれしいです。

さて、今回までで「企業」会計についての説明は一旦終了します。

次回からは、3回に分けてNPO法人会計にスライドさせて、この講座のまとめに入って行きたいと思います。

お疲れ様でした！